

国指定重要無形民俗文化財 大江八幡宮の御船神事

1 日時

平成30年9月16日（日）午前8時00分～午後6時00分（予定）

2 場所

大江八幡宮（牧之原市大江1606）

3 内容

市内4ヵ所の神社で行われる御船神事の一つで、最も古い歴史を持ちます。発祥は江戸時代中期、相良湊の廻船問屋が、航海の安全と商売の繁盛を祈願して行ったのが始まりといわれています。神事に使う御船は、菱垣廻船と樽廻船を精巧に模したもので、実物の10分の1、全長は約2メートルあります。

神事当日、船若と呼ばれる青年たちに担がれた御船は、渡御行列の先頭に立って大江地区を練り歩きます。担ぎ手は、舟唄に合わせて御船の船首と船尾を前後に激しく振ります。これは、廻船が大海原の荒波を乗り越えていく様子を表現しています。

田沼意次侯の時代から続く由緒ある伝統行事として、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

4 スケジュール（例年） ※時間前後の可能性あり

- 8:00 頃 祭礼式典（大江八幡宮）
- 9:00 頃～ 渡御行列の出発
- 11:50 頃 大江御旅所（大江防災センター）着
- 15:30 頃～ 渡御行列の出発
- 17:30 頃 大江八幡宮 着

